

令和2年度（平成31年度実績） 総合評価書 <施設名 多治見市美濃焼ミュージアム >

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
3. 業務の範囲	(1)ミュージアムの事業の実施に関すること (2)ミュージアムに観覧及び利用の許可に関すること (3)観覧料、利用料金に関すること (4)施設等の維持管理に関すること (5)減免対象者の利用に関すること (6)その他の業務

採点表														
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)			委員会採点		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用 状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/ 日数×営業時間)	-	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点				・28年度 延べ人数 15,843人 ・29年度 延べ人数 20,507人(国際陶磁器フェスティバル開催年:共通券入館者数=3,830人) ・30年度 延べ人数 13,457人 ・元年度 延べ人数 15,541人 ・30年度と比較して入館者数が増加しており、平成27年度以降入館者10,000人以上を5年連続達成を評価。 ・年間7つの企画展に加え関連イベントも複数開催。企画展に併せてギャラリートークや関連イベントも実施し、リピーターにも喜ばれる企画を実施している。 ・大河ドラマや朝の連続テレビ小説の舞台になったことから、東美濃への観光ツアーが増加した。これまで多くの来館者に美濃焼の魅力を感じてもらった結果、美濃焼の鑑賞＝美濃焼ミュージアムと認知した旅行会社の観光ツアーに、美濃焼ミュージアム訪問が組み込まれることが多くあり、例年と比較して特に団体客が増加した。			
			②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	95%未満～85% 3点				6点			
					平均値比(94%)=利用人数(延べ15,541人)÷16,602人 (上記(2)適用)									
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	-	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点						-				
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正に実施されている。	適正(普通) 2点		週に1回、業者に清掃委託をしているほか、職員が毎日清掃活動を行っている。					
			②保守・点検			適正に実施されている。	適正(普通) 2点		自家用電気工作物管理の月例点検として月例点検年5回、年次点検年1回実施。空調機器設備保守点検を年3回実施。自動扉点検業務を年4回実施。不調確認時には建築住宅課や業者に連絡をし迅速な対応、確認を実施。その他、自動扉のセンサー範囲が広すぎたため、安全のために業者を呼び調整を行った。					
			③保安・警備			適正に実施されている。	適正(普通) 2点		日中は、目視及び監視カメラによる警備、夜間は機械警備を委託している。消防用設備定期点検業務を年2回実施。	10点				
			④小規模修繕			①デスクトップパソコンの交換 ②電話機の交換 ③防火シャッターの調整 ④身障者トイレの修繕 ⑤公用車車検整備	適正(普通) 2点		指定管理者にて負担。					
⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	適正に実施されている。		適正(普通) 2点				開館日に見回りを行い、来場者の安全に努めている。敷地外周から館内までを確認し、特に可動部があるドア、窓、手すりやバリアフリー用具を重点的に確認している。公共施設点検研修に参加した。							
(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理		15			①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	キャビネットを活用し、整理方法を見直した。また、文書管理に関する責任者を置き、適切な管理を実施した。	期待以上 3点		情報を共有するためのファイリングシステムを活用し、キャビネットを使用し保管することで誰でも文書が探せるようになっている。また、離れていたキャビネットを、所々に移動し、文書の管理をしやすくした。外部からの通知文に関して、回覧責任者を作り、責任をもって回覧を行うようにしたこと、周知もれを防げるようにした。	12点			
	②環境への配慮	適正に実施されている。		適正(普通) 2点			古封筒や紙類を利用している。取り換え時期が来た館内の照明器具に関して、対応可能な器具であれば、消費電力の削減のためにLEDに変えている。							
	③バリアフリー	障がい者の視点による検証を実施し、前年度から継続して不都合な点がないことを確認した。		期待以上 3点			希望者に車椅子の貸出を実施。多目的トイレや身体障害者用駐車場を設置している。実際に職員が車いすを使用しながら館内をまわり、問題がないかどうかを確認した。今のところ、不都合な点はなかったが、実際に車いす使用者が来館した際、要望があればアリアンにより適宜改善を行っている方針。							
	④備品管理	適正に実施されている。		適正(普通) 2点			展示室シャッターの不具合がみられたため、すぐに修理及び調整を行った。美術品の収蔵庫の警備システムの解除キーが複数あったが、安全のため、一つにして館長が一元管理することとした。							
	⑤個人情報保護	適正に実施されている。		適正(普通) 2点			・個人情報の取られた紙類は、鍵付のキャビネットを使用し保管している。 ・個人情報のデータは極力持ち出さないなど、個人情報保護に努めている。							
	⑥事故等への対応	0		事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	適正に実施されている。		事故なし・対応に不備なし 0点		令和元年8月18日、落雷により、電話設備、集中管理型電気時計、総合防災盤(火災報知器連動型)、野外電柱が破損・故障。発生時、来館者の安全確認と安全確保を行い、応急停電復旧を行った。警報解除ののち、通常運営を再開。その後、破損・故障した機器の修理・交換を順次実施した。	0点				
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入【33,290,174】÷支出【35,658,287】＝93%	100%未満 3点				3点				
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・館内での写真撮影の許可。 ・お土産を開発。 ・ショップの値札のリニューアル。 ・駐車場・看板を設置。	期待以上 9点		・美術館等は、著作権等の制限により館内での撮影を禁止しているところが多いが、館の教育施設、観光施設としての側面、観光地に行けば記念撮影するのは自然な行為との考えから、一部撮影を許可(例:著作権で守られている作品以外は、記念撮影の背景に映り込んだりすることについては許可)した。 ・ミュージアムに来た記念にとちよとしたお土産を買ったらと要望があったため、織部文様クッキーを開発し、館内ショップにて販売を開始した。手頃な数および値段で購入しやすく、好評を得ている。 ・ショップの値札が、文字が小さい等の理由により読みづらいとの声があったため、文字の大ききやフォントの変更などにより、高齢者等にも読みやすいよう工夫を行った。 ・駐車場で開館時間がわかるようにしてほしいと要望があったため、駐車場に看板を設置した。					
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	適正に実施されている。	苦情なし・適正(普通) 4点		苦情なし	4点				
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・収蔵品データベース化の推進 ・回廊ガラスへのフィルム張り付け、ブラインド設置 ・館内の清潔・除菌の徹底 ・避難誘導訓練の実施、普通救命講習の受講	期待以上 14点		・収蔵品管理システムを導入し、収蔵品をデータベース化することで、展示品のピックアップや他館との資料貸借をスムーズに行えるようにした。 ・作品等を紫外線から守り、空調(冷房)の効果を高めるため、回廊ガラスにUV・遮熱フィルムを貼った。また、作品等を紫外線から守り、明るさを調節することで演出効果を高めるため、回廊ガラスのブラインドを設置した。 ・新型コロナウイルス発生以前から、職員同士が声を掛け合って館内の清潔・除菌の徹底を実施していた。 ・緊急時に適切な対応を行うことができるようにするため、館で作成した災害応急マニュアルを、職員全員がネックストラップのネームホルダーに入れている。また、有事に備え、避難誘導訓練の実施、普通救命講習の受講を行った。	14点					
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れや不備はない	遅れ・不備なし 減点なし				0点				
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等ない	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし				0点				
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					全体的な評価 ・良好な管理がなされている。	合計86点	極めて良好		